

事業報告書

平成29年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(1) 農作物共済関係  
(引 受)

区分	項目	組合員数	引受面積	引受収量	基準生産金額	共済金額	徴収共済掛金(A)	交付金または納入保険料(B)	手持共済掛金(A)±(B)	
										人
	水 稲	19,019	1,976,211	70,616,074		11,042,271,779	5,208,173	交 2,431,719	7,639,892	
	陸 稲	14	1,146	18,062		2,889,920	243,792	納 120,471	123,321	
麦	29年産	一筆方式	11	16,722	310,780		17,920,190	626,974	交 40,643,152	145,612,409
		災害収入方式	441	467,702		1,738,038,708	1,563,172,495	104,342,283		
		小 計	452	484,424	310,780	1,738,038,708	1,581,092,685	104,969,257		
	30年産	一筆方式	7	15,587	299,483		23,017,069	811,719	交 43,558,803	156,367,028
		災害収入方式	427	466,083		1,875,271,825	1,683,071,298	111,996,506		
		小 計	434	481,670	299,483	1,875,271,825	1,706,088,367	112,808,225		
	合 計	19,467	2,459,027	70,933,619	1,875,271,825	12,751,250,066	118,260,190	45,870,051	164,130,241	

(注) 合計は、麦(平成30年産)で算出する。

(被 害)

区分	項目	被害組合員数	共済金支払対象面積	共済減収量	共 済 金	共 済 金
						人
	水 稲	106	4,445.0	56,177	9,204,874	0.1%
	陸 稲	9	592.7	3,607	577,120	20.0
麦	一筆方式	3	212.2	1,181	140,539	0.8
	災害収入方式	182	168,729.5	1,266,153	75,375,461	4.8
	小 計	185	168,941.7	1,267,334	75,516,000	4.8
	合 計	300	173,979.4	1,327,118	85,297,994	

【被害状況】

【水稻】

7月を通して気温が平年より高く推移したことと8月上旬から下旬にかけての天候不順により紋枯病・白葉枯病等が発生し減収となった圃場があった。また、10月23日の台風21号及び30日の台風22号の通過に伴う風雨により冠水・浸水及び倒伏した圃場が見受けられた。桜川市(真壁・大和地域)の山間部においては、電気柵の設置等により被害防止に努めているものの、イノシシの食害等による被害が本年も発生しており年々深刻化している。

【陸稲】

通常播種した圃場においては5月中旬から6月中旬の一定期間降雨がほとんどなかったことから、一部圃場において干害が発生した。また、遅蒔きの圃場においては、7月下旬から8月下旬にかけての風雨により倒伏した圃場が多く見受けられ、不稔粒等が発生し全体的に屑粒の増加等により大幅な減収に繋がった。

【麦類】

全麦種において水捌けの悪い水田で湿害を受ける等の被害が発生し、連作耕地では縞萎縮病が散見された。また、5月上旬の風雨により倒伏した圃場が大麦を主に見受けられた。さらに、降雹による被害が6月16日に桜川市地内において発生し、収穫前の小麦が穂首や根元から挫折し減収となった圃場があった。

(支 払)

区分	項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
				保 険 金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
	水 稲	12月19日	9,204,874	2,301,218	6,903,656				100
	陸 稲	12月19日	577,120	247,669	123,321	206,130			100
麦	一筆方式	9月6日	140,539	35,134	56,637,002				100
	災害収入方式	12月19日	75,375,461	18,843,864					
	小 計		75,516,000	18,878,998	56,637,002				
	合 計		85,297,994	21,427,885	63,663,979	206,130	0	0	100

## (2) 畑作物共済関係

(引 受)

項目		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)-(B)
畑作物区分	人							
大豆	半相殺・一筆方式	13	14,673	142,140	17,056,800	692,357	384,645	307,712
	全相殺方式	143	136,760	1,674,707	341,210,367	22,365,738	12,425,439	9,940,299
	小 計	156	151,433	1,816,847	358,267,167	23,058,095	12,810,084	10,248,011
スイートコーン	全相殺方式	202	40,897	3,457,461	640,598,275	16,431,396	9,128,597	7,302,799
かぼちゃ	全相殺方式	132	7,268	1,047,585	196,736,411	5,843,102	3,246,193	2,596,909
合 計		490	199,598	6,321,893	1,195,601,853	45,332,593	25,184,874	20,147,719

(被 害)

項目		被害組合員数	共済金支払対象面積	共済減収量	共 済 金	共 済 金 共済金額
畑作物区分	人					
大豆	半相殺・一筆方式	10	4,519	16,697	2,003,640	11.7
	全相殺方式	52	41,617	91,076	17,563,236	5.1
	小 計	62	46,136	107,773	19,566,876	5.5
スイートコーン	全相殺方式	45	9,257	111,936	20,739,480	3.2
かぼちゃ	全相殺方式	64	3,572	91,067	17,102,355	8.7
合 計		171	58,965	310,776	57,408,711	

## 【被害状況】

## 【大豆】

播種後の降雨による発芽不良や10月13日以降の長雨による雨害湿潤害と、続けて接近した台風21号・22号による風水害も重なり、土壌水分が過多となったことから、子実の肥大不足並びに変形粒やカビ粒、病害粒が多数発生し規格外が多く減収につながった。

【スイートコーン】

5月以降は平年に比べ気温が高く、土壌が乾燥し雄穂開花期の圃場では受精率が低下し結実不良となり、子実肥大期の圃場では子実肥大に影響を受けた。また、梅雨時期に降水量が少なく、7月以降は急激な気温上昇から登熟が早まり規格外となる子実もあり減収につながった。

【かぼちゃ】

5月は最高気温で25℃を超える日が多く根が活着不良となり、梅雨入り後は降水量が極めて少なく高温が続く草勢が弱り、着果した果実の肥大不足や二番果実の着果不良となり収穫量が減少した。また、6月16日桜川市において降雹により、完熟前の果実が損傷を受け皆無となる圃場もあり、大きな被害となった。

(支 払)

項目 畑作物区分	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金	
			保険金	手持掛金 充当額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他		
		円	円	円	円	円	円	%	
大 豆	半相殺・一筆方式	2月14日	2,003,640	1,602,912	307,712			93,016	100
	全相殺方式	3月30日	17,563,236	14,050,588	3,512,648				100
	小 計		19,566,876	15,653,500	3,820,360	0	0	93,016	100
ス イ ー ト コ ー ン	全相殺方式	12月5日	20,739,480	16,591,584	4,147,896				100
か ぼ ち ゃ	全相殺方式	12月5日	17,102,355	13,681,884	2,596,909			823,562	100
合 計			57,408,711	45,926,968	10,565,165	0	0	916,578	100

## (3) 果樹共済関係 (なし)

## (引 受)

年産	項目 果樹区分	組合 員数	引受 面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)-(B)
平成 29 年産	半相殺減収 総合方式	12	148	32,555	5,602,000	390,129	359,115	31,014
	半相殺特定 危険方式	233	12,034	2,626,952	505,555,000	19,890,094	18,213,091	1,677,003
	樹園地単位 特定危険方式	133	11,420	2,602,284	439,367,000	8,457,527	7,526,215	931,312
	合計	378	23,602	5,261,791	950,524,000	28,737,750	26,098,421	2,639,329
平成 30 年産	半相殺減収 総合方式	12	151	35,400	6,136,000	428,365	395,080	33,285
	半相殺特定 危険方式	205	10,834	2,500,232	489,553,000	19,338,704	17,595,385	1,743,319
	樹園地単位 特定危険方式	137	11,453	2,760,099	473,740,000	9,213,001	8,171,302	1,041,699
	合計	354	22,438	5,295,731	969,429,000	28,980,070	26,161,767	2,818,303

## (被 害)

果樹区分	項目	被害組合員数	認定減収量	共 済 金	共 済 金
					人
半相殺減収総合方式					%
半相殺特定危険方式		2	3,919	101,340	0.02
樹園地単位特定危険方式					
合計		2	3,919	101,340	0.01

## 【被害状況】

## 【半相殺減収総合方式】

5月上旬、一部園地において黒星病が発生し、果実に病斑や奇形等の被害を受けたが軽微な被害となった。

## 【半相殺特定危険方式・樹園地単位特定危険方式】

9月18日の台風18号による暴風雨により管内各地において、収穫前のあきづき、新高などに果実の落下、スレ等の被害が発生した。また、9月25日午後7時ごろ、降雹により筑西市及び下妻市において、にっこの果実に損傷を受ける被害が発生したが、ともに軽微な被害となった。

## (支 払)

果樹区分	項目	支払月日	実支払 共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金
				保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
半相殺減収総合方式			円	円	円	円	円	円	%
半相殺特定危険方式		12月19日	101,340	81,072	20,268				100
樹園地単位 特定危険方式									
合計			101,340	81,072	20,268	0	0	0	100

(4) 家畜共済関係

(引 受)

項目 区分	有資格 頭数	事業計 画頭数 (a)	引受頭数 (b)	計画 達成率 $\frac{(b)}{(a)}$ %	共済金額 円	徴収共済掛金 (A) 円	納入保険料 (B) 円	手持共済掛金 (A)-(B) 円
乳用牛	2,677	3,800	4,023	105.9	639,553,400	33,179,851	20,461,327	12,718,524
肉用牛	9,860	7,420	7,910	106.6	1,146,799,400	12,731,704	7,660,778	5,070,926
馬								
種 豚	12,950	9,100	9,215	101.3	360,063,100	1,778,201	1,186,174	592,027
肉 豚	120,673	82,000	83,602	102.0	748,198,100	31,677,362	21,119,725	10,557,637
合 計	146,160	102,320	104,750	102.4	2,894,614,000	79,367,118	50,428,004	28,939,114

(事 故)

項目 区分	死 廃 事 故			支払共済金 円	病 傷 事 故	
	頭 死 亡	頭 廃 用	頭 計		件 数	支払共済金 円
乳用牛	149	56	205	34,795,336	3,273	41,063,008
肉用牛	24	14	38	5,675,408	1,270	19,214,170
馬						
種 豚	62	23	85	3,600,699	5	33,130
肉 豚	7,407	0	7,407	61,356,872		
合 計	7,642	93	7,735	105,428,315	4,548	60,310,308

【被害状況】

【乳用牛】

連合会家畜診療センターの治療や診療等により事故頭数、件数、支払共済金ともに大幅に減少した。

【肉用牛】

死廃事故については、暑さの影響も少なく事故頭数、支払共済金ともに減少した。また、病傷事故については、事故件数は増加したが診療センターの治療や診療等により支払共済金は微増であった。

【種豚・肉豚】

種豚の死廃、病傷事故は、暑さの影響も少なく頭数で若干増加したものの、支払共済金は前年並みであった。  
肉豚については、夏場の暑さの影響も少なく事故頭数が減少し支払共済金も大幅に減少した。

(損害防止)

一般損害防止事業を実施し、共済事故の未然防止並びに事故拡大防止に努めた。

項目 区分	実施期日	実施頭数 頭	重 点 事 項	経費 円	摘 要 円
特定損害防止					
一般損害防止 (予防衛生措置)	5月から3月	101,881	血液検査・予防衛生・消化器病 予防対策・内外寄生虫駆除等	2,857,985	連合会 1,492,156 組合 1,365,829

【乳用牛】

血液検査、ボバクチン、ビオスリーの配布による予防対策及び飼養管理指導を行った。

【肉用牛】

エコメクチンの散布、血液検査、固形カウストン、ビオスリーの配布による予防対策及び飼養管理指導を行った。

【種豚・肉豚】

ワクチン接種に対する補助、各種殺菌剤の配布による予防対策及びPED対策として消石灰の配布を行った。

(5) 園芸施設共済関係  
(引 受)

項目 施設区分	組合 員数	引受 棟数	引受 面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)-(B)
	人	棟	a	千円	千円	円	円	円
ガラス室Ⅰ類								
ガラス室Ⅱ類	26	46	296	291,512	233,173	170,941	102,953	67,988
プラスチック ハウスⅠ類								
プラスチック ハウスⅡ類	2,003	12,063	31,589	7,180,077	5,735,124	47,972,808	28,917,622	19,055,186
プラスチック ハウスⅢ類	228	309	4,007	1,647,286	1,317,539	9,548,393	5,800,361	3,748,032
プラスチック ハウスⅣ類甲	316	500	5,166	2,949,294	2,358,948	10,606,022	6,421,032	4,184,990
プラスチック ハウスⅣ類乙	46	66	944	614,798	491,776	1,735,909	1,261,240	474,669
プラスチック ハウスⅤ類	21	35	572	559,363	447,455	2,429,226	1,813,911	615,315
プラスチック ハウスⅥ類	15	27	139	18,351	14,667	355,365	213,941	141,424
プラスチック ハウスⅦ類	106	232	5,764	255,475	204,273	945,342	569,645	375,697
合 計	(延) 2,761	(延) 13,278	48,477	13,516,156	10,802,955	73,764,006	45,100,705	28,663,301

(被 害)

項目 施設区分	被 害			損害の額	共 済 金						共済金 共済金額	
	組合 員数	棟数	附 帯 施設数		特 定 園芸施設	附帯 施設	施設内 農作物	撤去 費用	復旧費用			合 計
									特定園芸施設	附帯施設		
	人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガラス室Ⅰ類												
ガラス室Ⅱ類	3	3	2	175,607	37,324	103,160				140,484	0.06	
プラスチック ハウスⅠ類												
プラスチック ハウスⅡ類	335	1,639	1	141,285,427	78,576,208	4,494	34,273,269			112,853,971	1.97	
プラスチック ハウスⅢ類	34	41		12,375,749	3,566,307		6,334,171			9,900,478	0.75	
プラスチック ハウスⅣ類甲	55	65	1	17,583,312	5,489,760	67,651	8,509,009			14,066,420	0.60	
プラスチック ハウスⅣ類乙	2	2		262,750	210,200					210,200	0.04	
プラスチック ハウスⅤ類	1	1	1	39,960		31,968				31,968	0.01	
プラスチック ハウスⅥ類	1	1		69,022	54,872					54,872	0.37	
プラスチック ハウスⅦ類	4	4		183,941	147,152					147,152	0.07	
合 計	(延) 435	(延) 1,756	5	171,975,768	88,081,823	207,273	49,116,449	0	0	0	137,405,545	1.27

【被害状況】

6月16日の降雹により特定園芸施設の被覆材の損害や施設内の小玉スイカ等が割れるなど、桜川市、筑西市(協和)において甚大な被害となった。また、9月に台風18号、10月に台風21号・22号と続けて関東に接近し、パイプハウスが全壊するなどの被害が発生した。

(支 払)

手持共済掛金	既経過共済掛金	責任準備金繰入額	責任準備金戻入額	当期手持共済掛金
円	円	円	円	円
28,663,301	10,571,019	18,092,282	18,236,821	28,807,840

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金
	保 険 金	手持共済掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
円	円	円	円	円	円	%
137,405,545	109,923,741	27,481,804	0	0	0	100

## (6) 建物共済関係

(引 受)

種 別	加 入		共済金額	共 済 掛 金		平均共済金額	
	戸 数	棟 数		純掛金	賦課金	戸当たり	1棟当たり
総 合	4,667	6,055	6,299,593	97,539,845	41,810,219	1,350	1,040
火 災	33,969	71,012	82,476,515	435,343,137	355,592,954	2,428	1,161
合 計	(延) 38,636	(延) 77,067	88,776,108	532,882,982	397,403,173	2,298	1,152

(事 故)

事 故		加入共済金額	支払共済金	備 考
戸 数	棟 数			
398	464	716,605	294,909,172 (294,956,707)	

( )内は求償に係る金額を含む支払共済金

## 【被害状況】

支払戸数は、前年度(256戸)より上回り398戸となり、支払共済金については1,945万円の支払減となった。これは、落雷事故の支払いは2,450万円増加したが、火災事故等の支払いが4,395万円減少したためである。

火災による支払共済金は、2億3,624万円と全体の80.1%を占め、落雷事故についても管内全地域で発生し、4,326万円の支払いとなった。

## (7) 農機具共済関係

(引 受)

種 別	加 入		共済金額	共 済 掛 金		平均共済金額	
	戸 数	台 数		純掛金	賦課金	戸当たり	1台当たり
総 合	4,462	15,179	4,049,304	202,340,564	47,116,036	908	267
火 災	2,645	4,993	484,242	4,159,888	929,832	183	97
合 計	(延) 7,107	(延) 20,172	4,533,546	206,500,452	48,045,868	638	225

(事 故)

事 故		加入共済金額	支払共済金	備 考
戸 数	台 数			
671	755	276,204	123,512,561	

## 【被害状況】

支払対象台数は、前年度(840台)に対し85台の減となり、機種別ではトラクター180台、ロータリー177台、コンバイン149台の3機種で全体の67.0%を占めた。支払共済金については、1億6,845万円の支払減となった。接触・衝突事故の支払いは1,700万円増加したが、その他(火災、豪雨等)の支払いが1億8,545万円減少したためである。また盗難については、12台、1,996万円の支払いとなった。